

東証IRフェスタ2013

個人投資家向け会社説明会

# Jトラストグループの 事業概要と成長戦略

Jトラスト株式会社

大阪証券取引所 市場第二部上場 証券コード：8508

平成25年2月16日

## 目次

1. 会社概要
2. 事業内容
3. Jトラストグループの「5つの強み」
4. 平成25年3月期  
第3四半期の業績概要と通期業績見通し
5. 株主還元

広報・IR部長 篠原敏男

## 目次

# Jトラストグループの成長戦略

代表取締役社長 藤澤信義

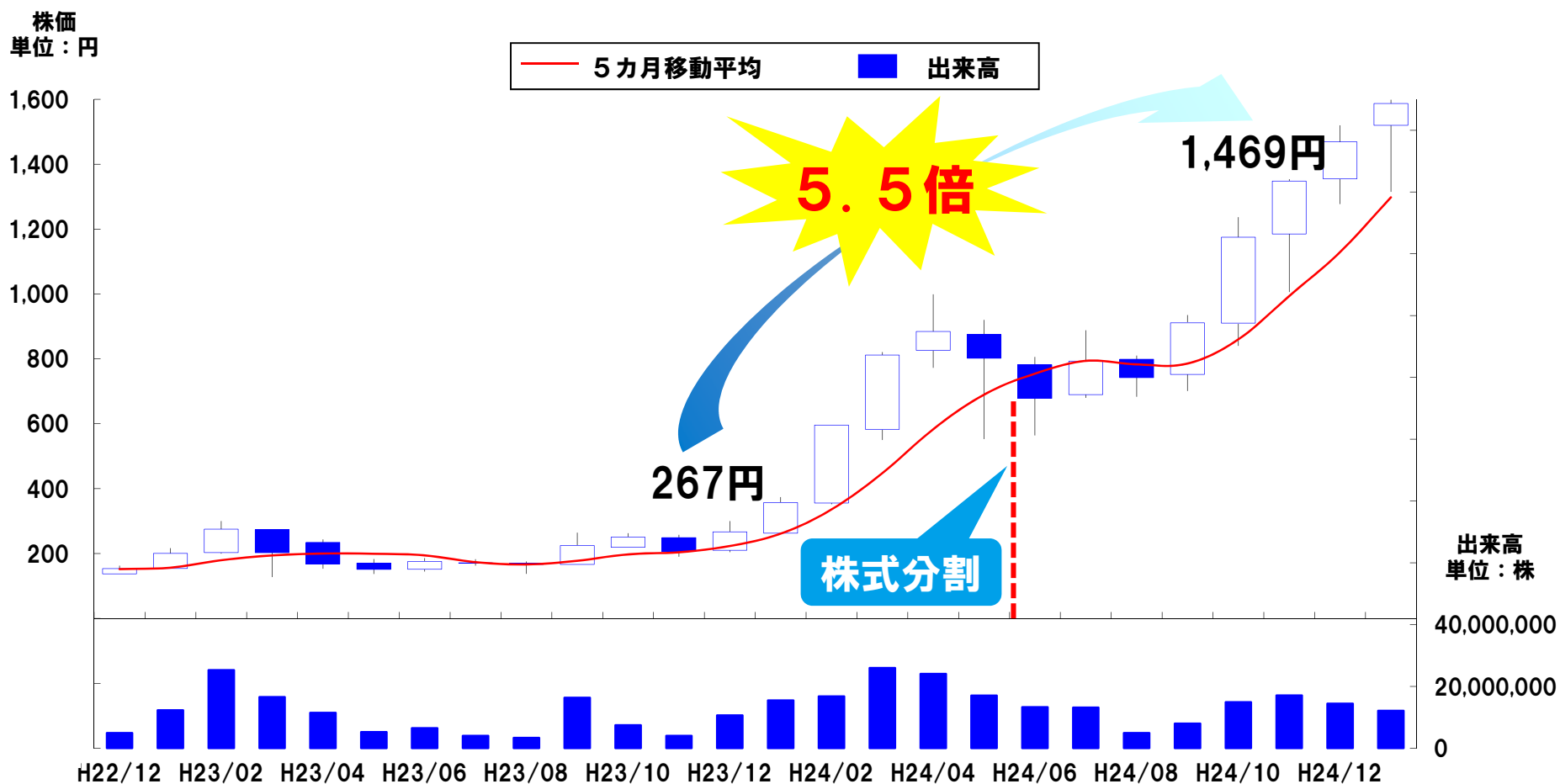
■商号	Jトラスト株式会社 J Trust Co.,Ltd.
■設立年月日	昭和52（1977）年3月
■代表者	代表取締役社長 藤澤 信義
■事業内容	ホールディング業務・債権買取業務
■総資産	2,215億円
■純資産	701億円
■連結従業員数	2,062名
■グループ事業会社数	19社 うち金融14社

平成24年12月末現在



# Jトラスト月足チャート（2年）

昨年12月末と比較すると約5.5倍



※平成24年6月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を実施しており、それ以前の株価および出来高につきましては、遡及修正しております。 5

### 時価総額の推移



### 東証2部・大証2部時価総額ランキング (608社)

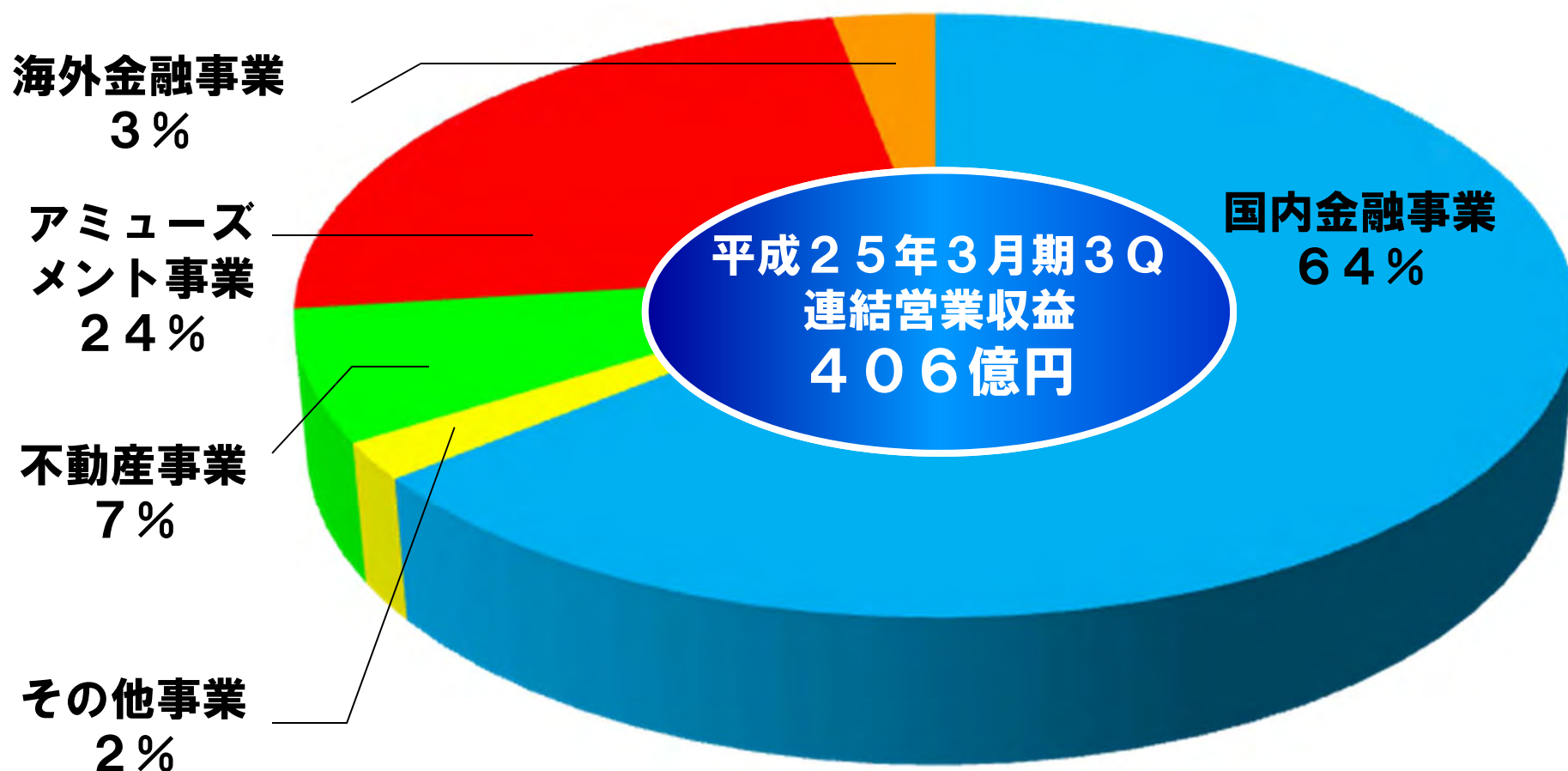
平成24年12月末現在 単位：億円

順位	市場	名称	時価総額
1	大2	Jトラスト	921
2	東2	アトム	766
3	東2	帝国ホテル	686
4	東2	歌舞伎座	590
5	東2	日本精機	567

順位	市場	名称	時価総額
6	大2	ハイレックスコーポレーション	550
7	東2	朝日インテック	527
8	東2	理研ビタミン	469
9	東2	日本ケンタッキー・フライド・チキン	465
10	大2	日本ケミカルリサーチ	414

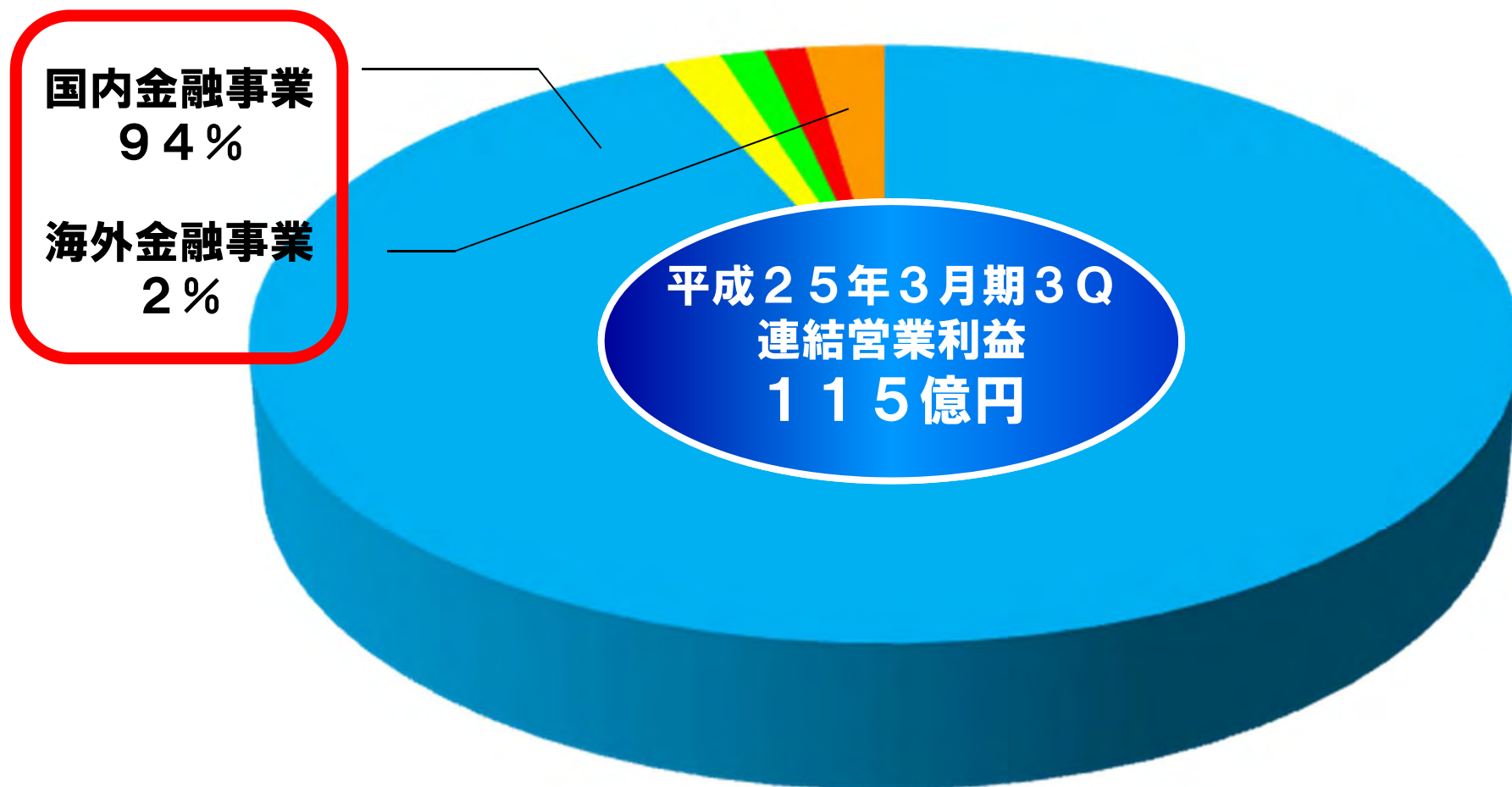
営業収益のセグメント別構成（平成25年3月期3Q）

国内・海外の金融事業比率は67%



営業利益のセグメント別構成（平成25年3月期3Q）

金融事業を中心とした事業グループ





主な金融事業会社（平成25年2月16日現在）





# アミューズメント施設 66店舗の運営事業





# カラオケアドアーズ 商業系施設の設計・施行事業







## アミューズメント景品の企画・制作・販売 施設運営・不動産事業



その他の事業会社（平成25年2月16日現在）

アミューズメント事業



不動産事業



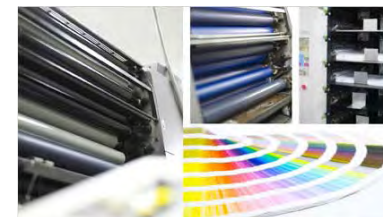
Jトラストグループ



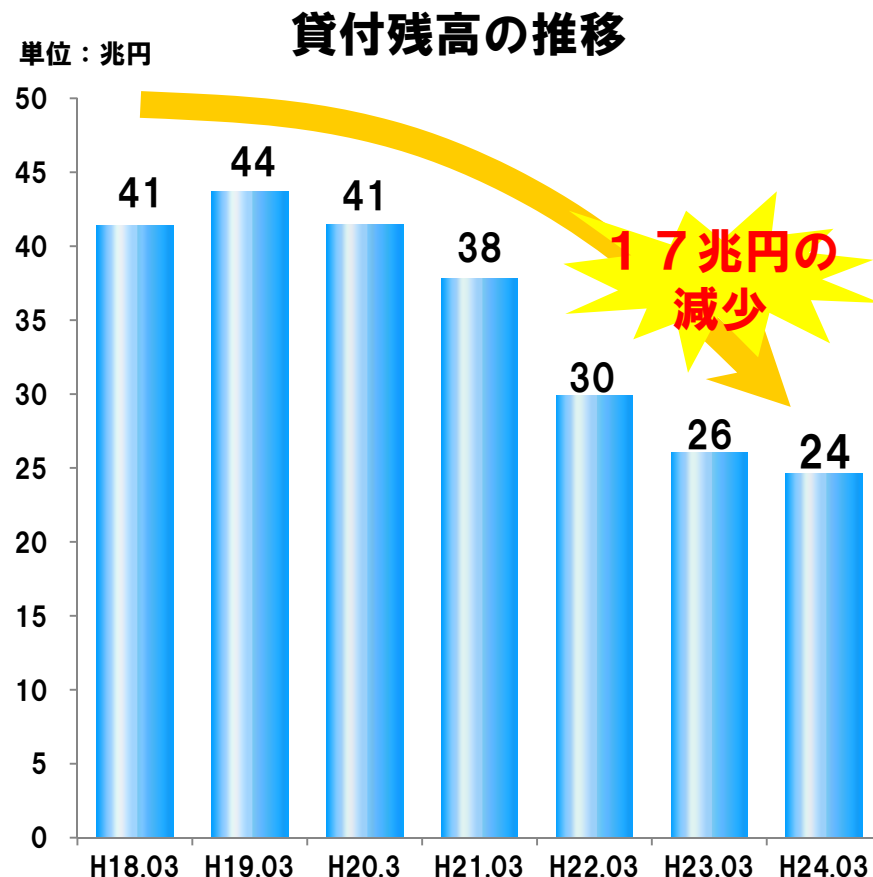
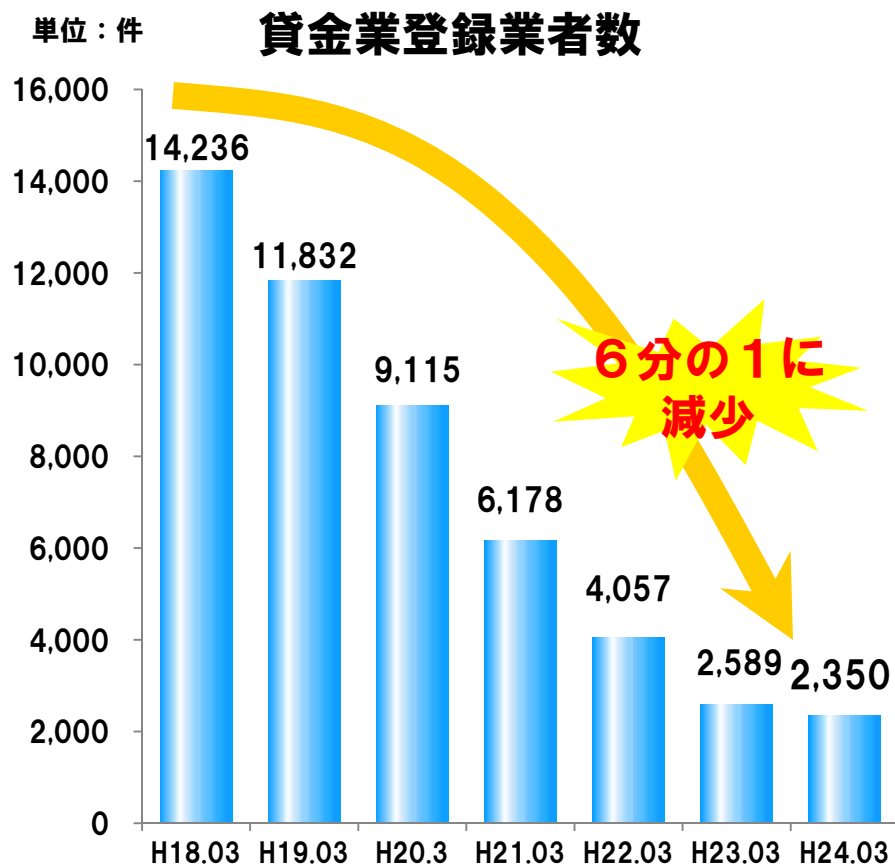
ITシステム事業



総合印刷事業



## 貸金業者数と残高の推移



※出典：金融庁 14

**1 機動的なマネジメント体制**

**2 強固な財務基盤の保持**

**3 安定した業績の継続**

**4 有用な経営資源とノウハウの保有**

**5 キャッシュフローを活かした経営**



## 1 機動的なマネジメント体制



環境変化にも迅速かつ柔軟に対応  
していく意思決定力と判断力

1人ひとりの能力を  
最大限に活かす人事政策

どのようなM&Aや  
事業展開にも機動的に対応

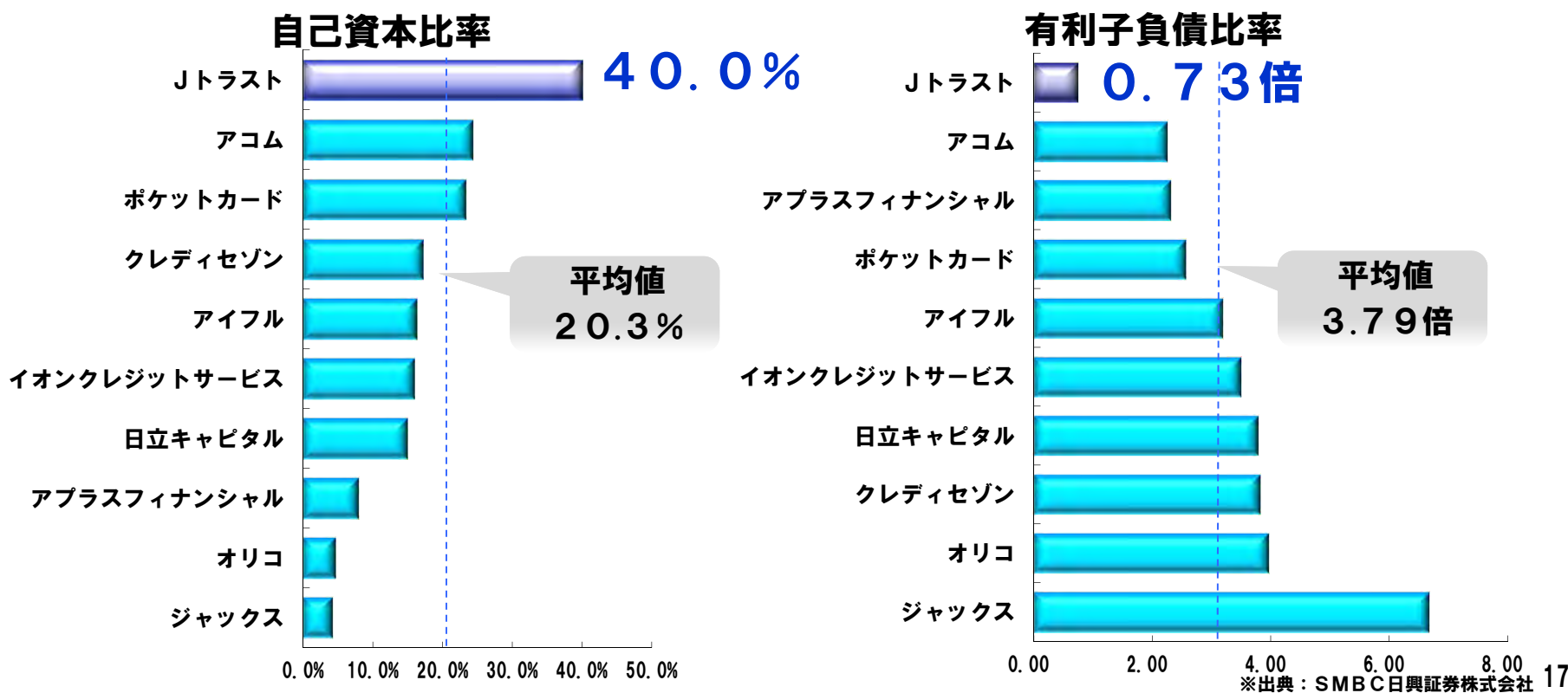


## 2 強固な財務基盤の保持

### 安定した財務基盤が 戦略を進める上での強み

※平成24年11月末時点

時価総額200億円以上の上場企業（その他金融・非預金信用機関10社）



### 3 安定した業績の継続

## 6期連続黒字・有配の見込み

5期連続当期利益黒字かつ5期連続配当あり（その他金融）

上場会社名	業種	市場
Jトラスト	貸金業	大2
芙蓉リース	リース	東1
興銀リース	リース	東1
東センリース	リース	東1
中証金	証券金融	名2
リコーリース	リース	東1
イオンクレジット	クレジット	東1
日立キャピタル	リース	東1

上場会社名	業種	市場
オリックス	リース	東1
三菱UFJリース	リース	東1
九州リース	リース	福岡
大証	証券取引所	東1
マネパG	外為取引	東2
アサックス	不動産担保	東1
UCS	クレジット	JQ

## 4 有用な経営資源とノウハウの保有



金融ノウハウを活かした  
様々なM & Aや債権買取に対応可能

# 5 キャッシュフローを活かした経営

## 効率の高い事業展開を推進

### Jトラストのビジネスモデル



### ノンバンクのビジネスモデル

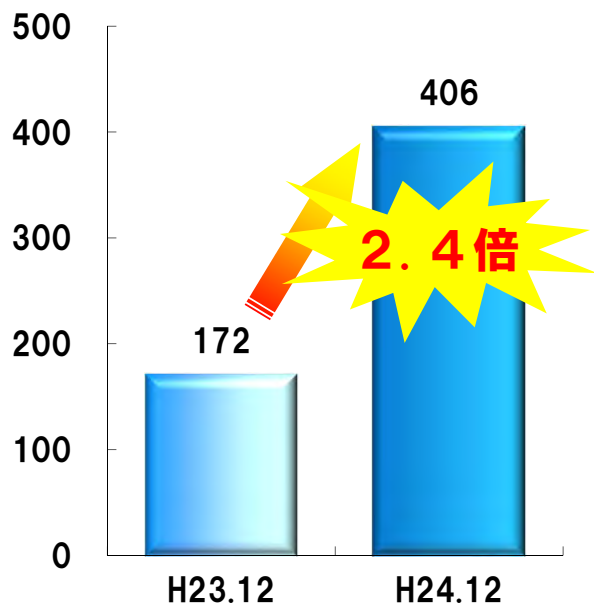


平成25年3月期第3四半期連結業績

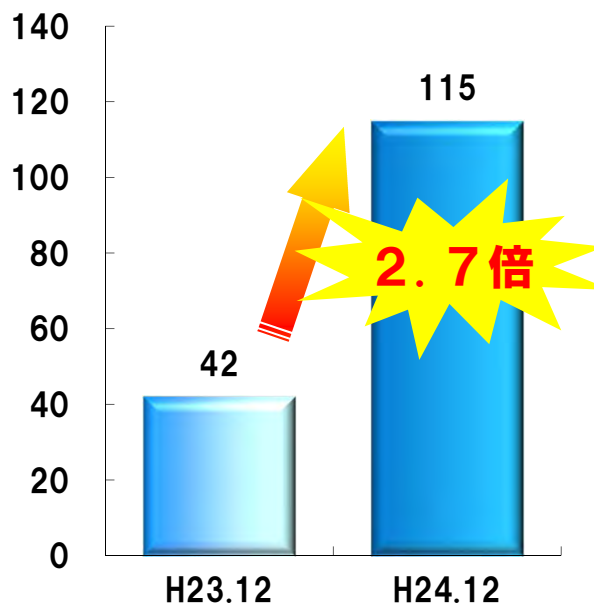
- KCカード・武富士債権の収益寄与
- 不動産事業の業績回復
- アミューズメント事業収入の寄与

単位：億円  
 ■ 平成24年3月期第3四半期  
 ■ 平成25年3月期第3四半期

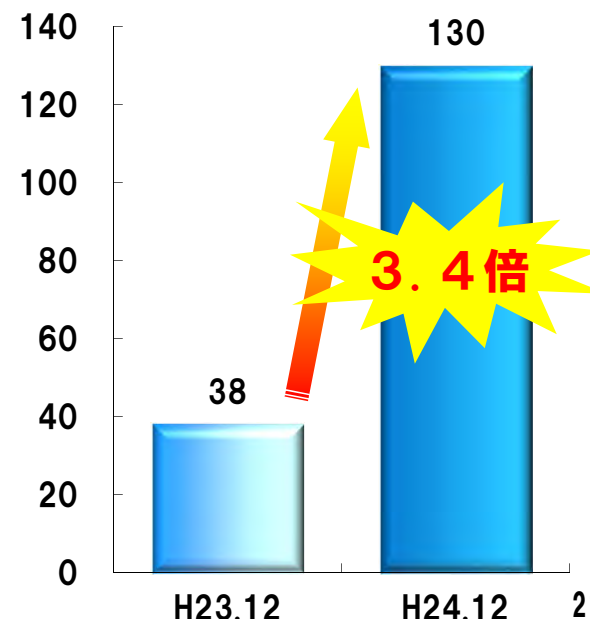
営業収益



営業利益

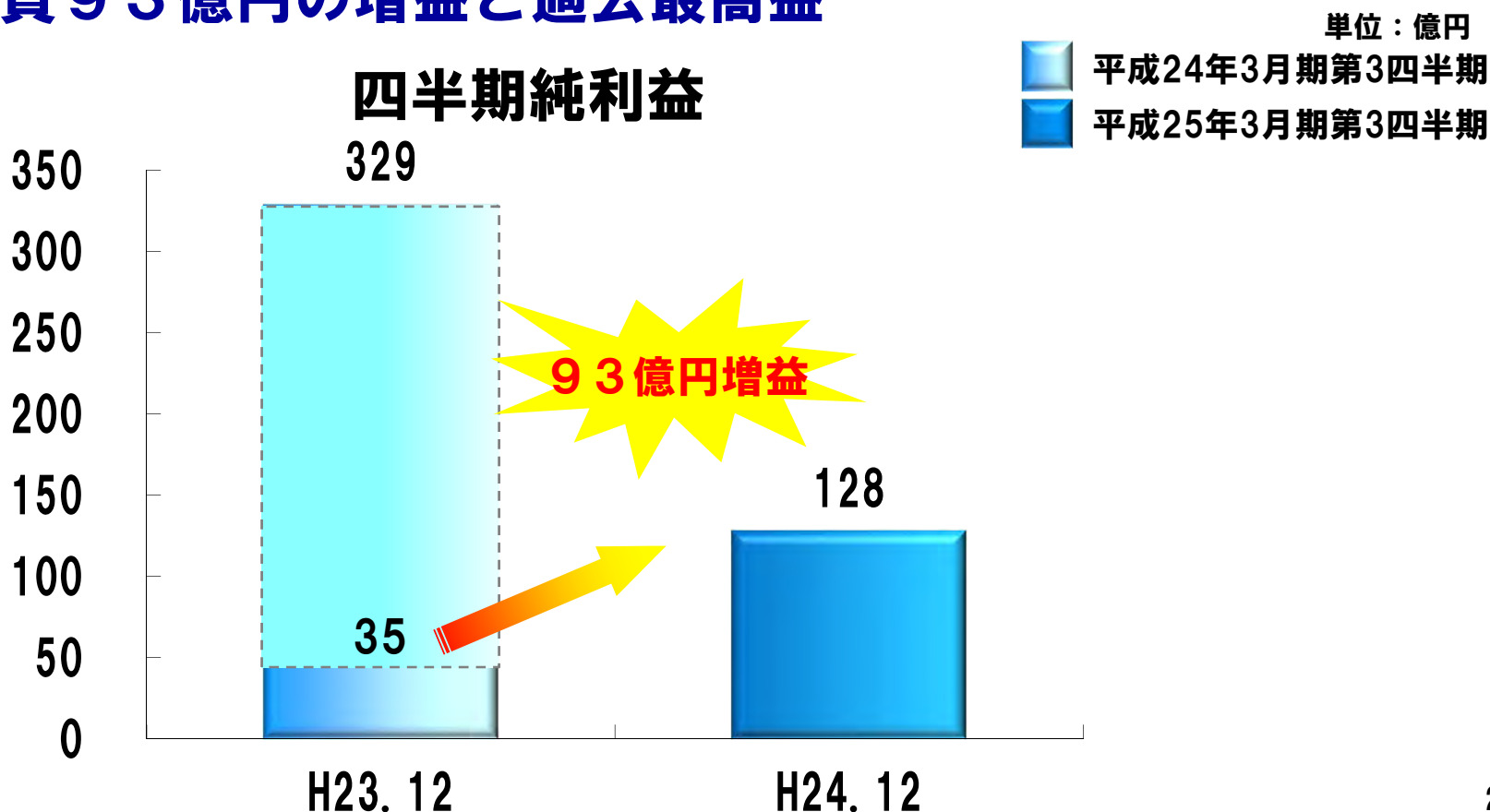


経常利益



平成25年3月期第3四半期連結業績

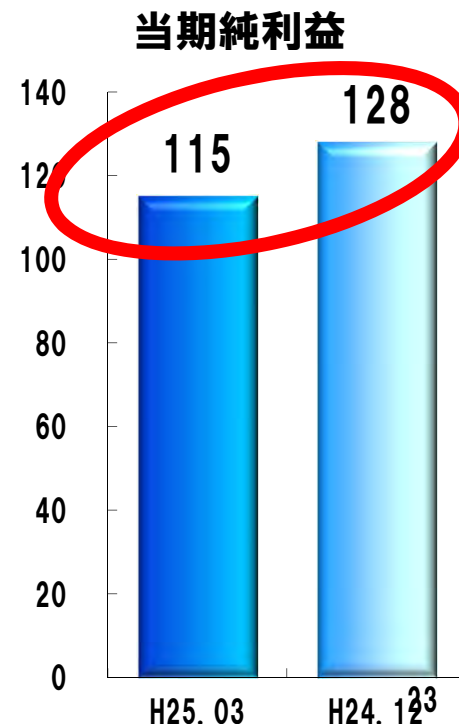
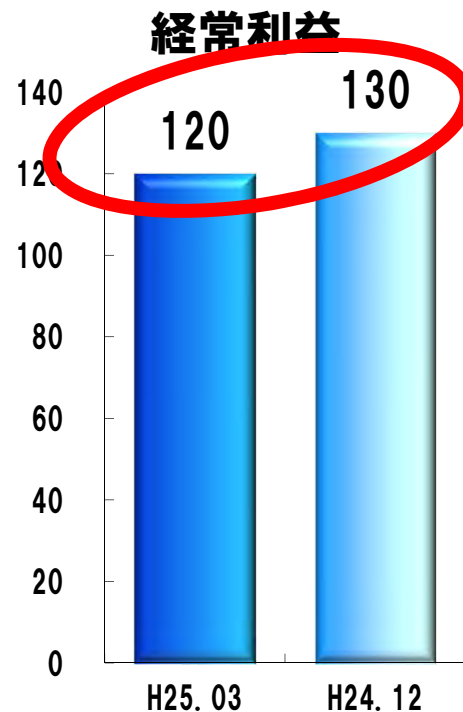
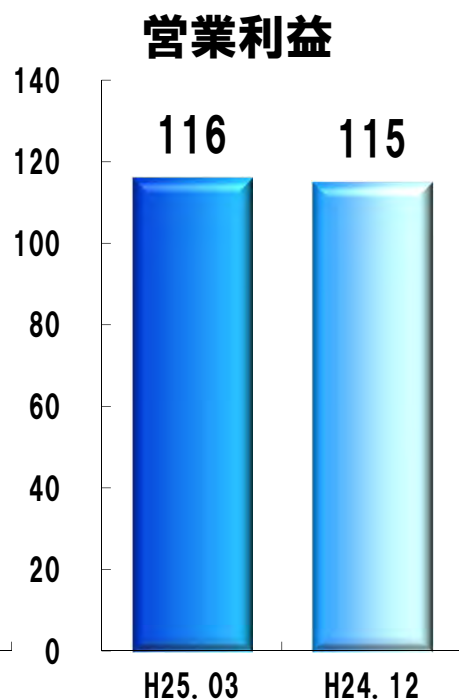
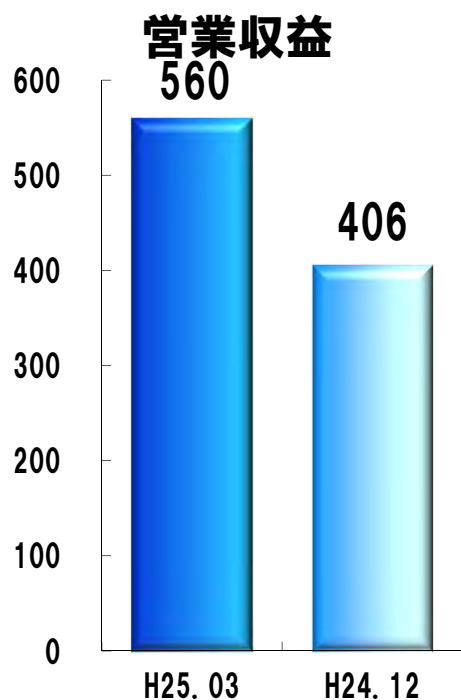
- 前期はK Cカード取得による「負ののれん発生益294億円」を特別利益に計上
- 実質93億円の増益と過去最高益



第3四半期の決算主要数値と平成25年3月期業績見込

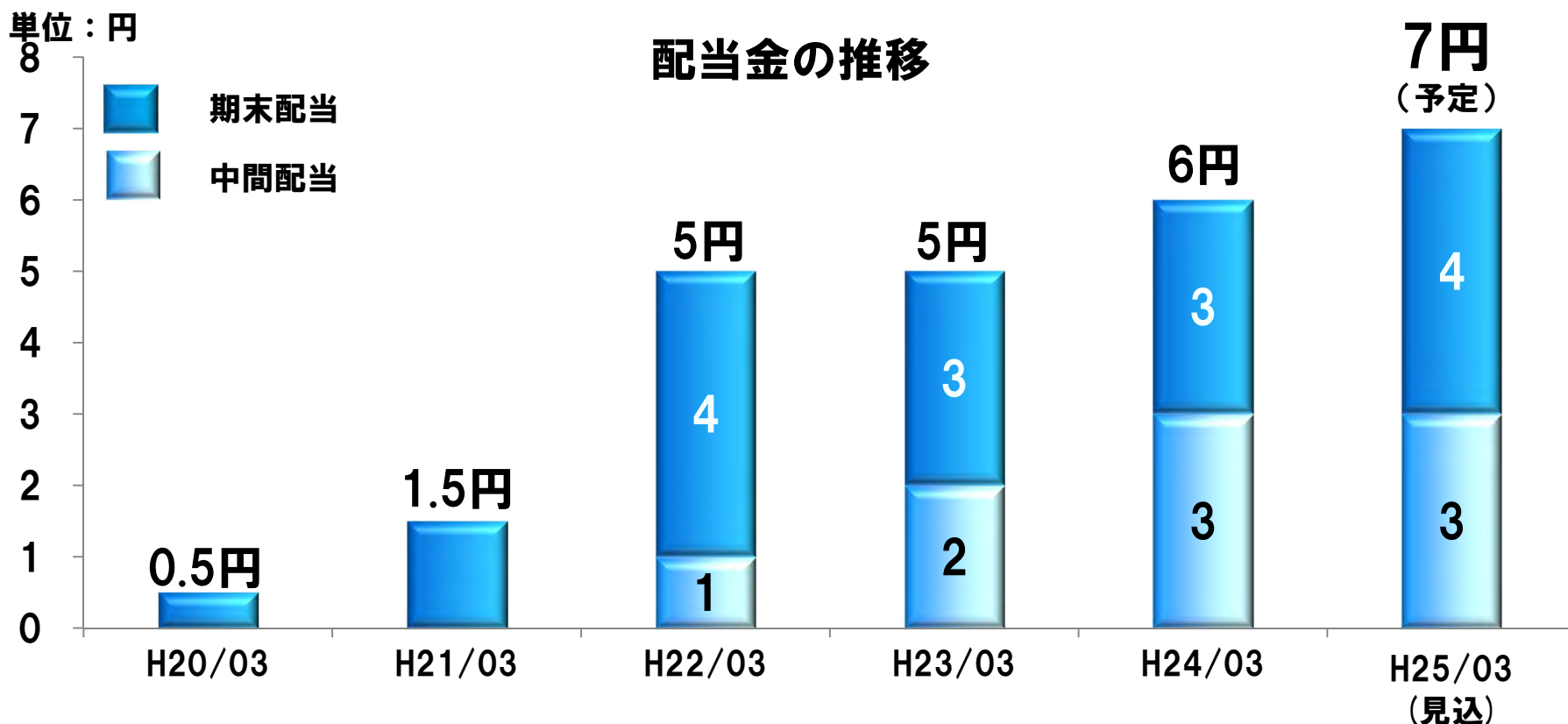
# 6期連続増収増益の見込み

単位：億円  
 ■ 平成25年3月期見込  
 ■ 平成25年3月期第3四半期



配当について

- 安定的かつ継続的な配当を実施
- 分割前1株12円に対し、14円の配当と同様



※平成24年6月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を実施しており、それ以前の配当金数値につきましては、遡及修正しております。24



# Jトラストグループの成長戦略

代表取締役社長 藤澤信義

## 《 経営戦略 》

# グループ経営基盤の強化による 継続的な成長企業の実現

## 《 3つの成長戦略と今後の取組み 》

1. 経営資源を活かした信用保証事業の拡大
2. クレジットカード事業の強化
3. 韓国市場での新たな金融事業の展開

## 経営資源を活かした信用保証事業の拡大

- 当社ノウハウと金融機関のブランド力を融合し、信用保証事業を推進



## 経営資源を活かした信用保証事業の拡大

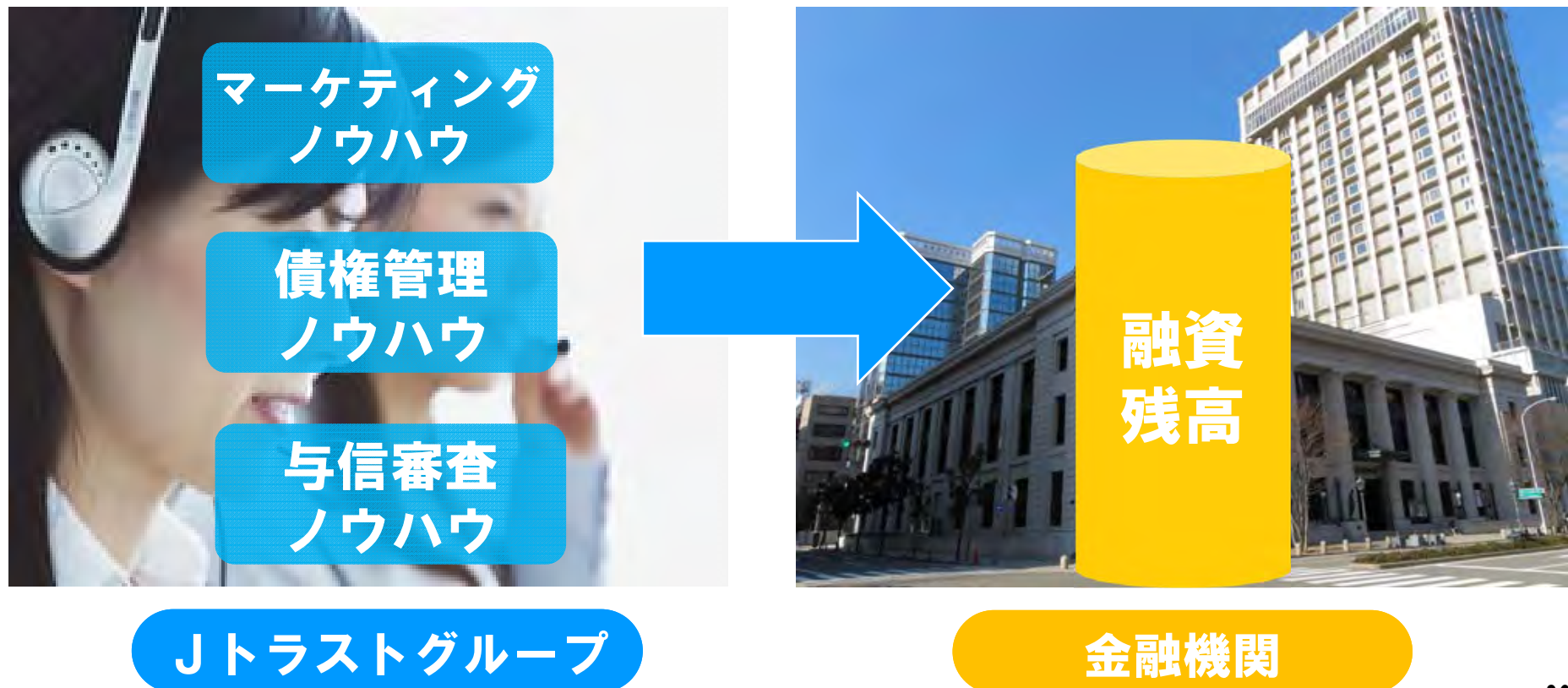
- 一般的な保証提携スキームは、お客様の獲得で保証先の銀行と競合し利害関係が発生





## 経営資源を活かした信用保証事業の拡大

- Jトラストは、マーケティングノウハウ等を提供し、良好な関係を保持



## 経営資源を活かした信用保証事業の拡大

### ○ 信用保証事業で地域経済を元気にする



## 経営資源を活かした信用保証事業の拡大

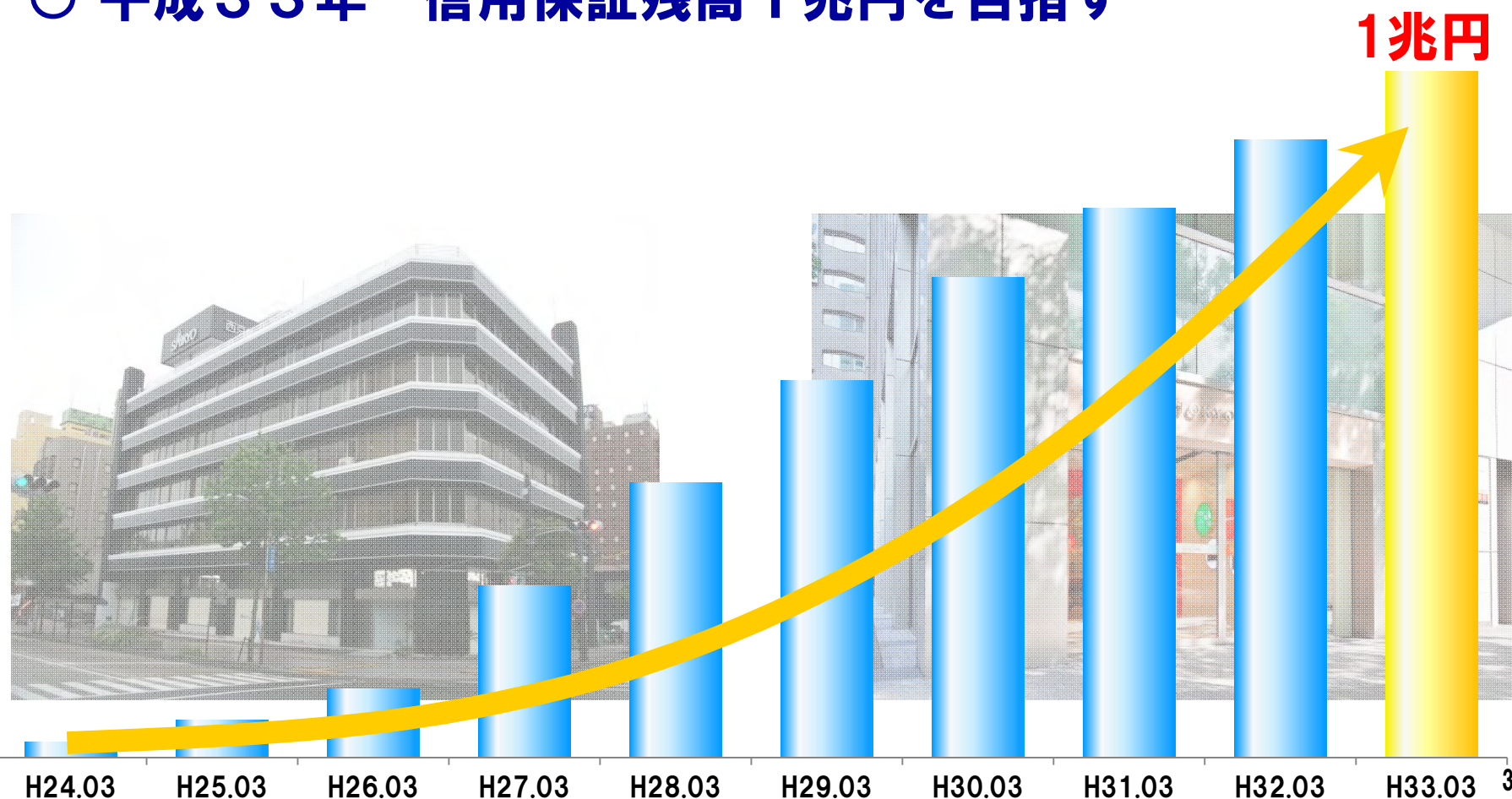
- 提携先は順調に拡大
- KCカードと日本保証で更なる提携先を拡大





## 経営資源を活かした信用保証事業の拡大

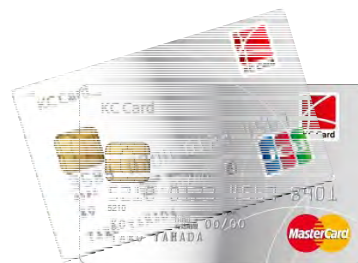
○ 平成33年 信用保証残高 1兆円を目指す





## クレジットカード事業の強化

- 様々なB to C事業とのアライアンスによるクレジットカード会員の獲得



KCカード会員を獲得

## クレジットカード事業の強化

○ 平成24年11月 ECサイト「eMoMoT.com」をオープン

The screenshot shows the eMoMoT.com website interface. At the top, there's a navigation bar with categories like 'おすすめ!', 'ファッション', '食品', '美容・健康', 'スポーツ・趣味', 'キッチン・家電', and '社会貢献'. Below this, there are several promotional banners and product listings. One prominent banner features a cartoon rabbit character and the text 'いーモノがもっと! eMoMoT.com'. Another banner advertises '1/31(木) 新感覚★オーガニック びるびる爽快リップクリーム&美容液のようなハンドクリーム'. A large banner for '魚沼産コシヒカリ' (Koshihikari rice) is also visible, with a price of 2,000 yen. On the right side, there are smaller promotional boxes for 'GIRLS TV' and '2/6(水)12時~販売!! 国産オイルヒーター ユーレックス (個数限定) 34,800円(税込)'. At the bottom of the screenshot, there are buttons for '商品の詳細はこちら' and 'KCカード 会員OK'.



**KCカードを高稼働化**

## 韓国市場における新たな金融事業の展開

- 日本で培った金融ノウハウを活かし、貯蓄銀行業の成功モデルを作る
- 幅広い資金需要者に低金利で資金供給し、韓国経済に貢献する

# 親愛貯蓄銀行



チュジェド

日本



# 韓国市場における新たな金融事業の展開

- 5年後総資産1,000～2,000億円 利益100～200億円を想定
- 債権買取を行なうことで、利益の早期達成を目指す



## 3つの成長戦略に2つの戦略を加え大きく飛躍

- 当社が持つノウハウを活かし、海外での事業展開を推進
- サービサー事業や不動産事業を加え5つの成長戦略に



**ご清聴ありがとうございました**

- **本資料に記載された意見や予想などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報や正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。**
- **また、説明会および本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。**
- **投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われますよう、お願いいたします。**